２０１９年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　13501　　科　名　ファッション流通科１年 科目ｺｰﾄﾞ 980010　科目名　特別講義　Ⅰ	☆	単　　位	２ 単位
		授業期間	通年

担当教員(代表)：野原　美香
共同担当者：　2=岩村.3=徳満.4=吉田.5=内田.6=松本.7=縄田.8=北村.9=佐藤

【授業概要、到達目標・レベル設定】
レギュラー授業に含まれない人材育成のために、講義をはじめファッション流通で学ぶ上で、今後に役立つ知識を習得する。
ファッション流通業における経営や仕入れや販売、ディスプレイ、スタイリング、ヘアメイク、販売促進・ＰＲなど、ビジネスにおける情報活用の重要性が高まっている現状において、専門科目における情報収集・分析のスキルとは別に、市場や展示会、美術館、舞台衣装などの見学を通して、ファッション情報に関する見聞を広げる。

【授業計画】
テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内　容	コマ	内　容
1	有意義な学生生活のためにⅠ「ストレスチェックとそのパターン」	16	就職対策　「履歴書・面接」③
2	有意義な学生生活のためにⅡ「対人関係パターン」	17	就職対策　「履歴書・面接」④
3	ビジネスマナーⅠ「挨拶と返事」	18	就職対策　「履歴書・面接」⑤
4	下着の一般知識	19	就職対策　「履歴書・面接」⑥
5	職種研究Ⅰ	20	スタイリストの世界
6	職種研究Ⅱ	21	服飾解剖学Ⅰ「人体観察(シルエッター)」
7	プロポーション美学演習「正しい姿勢と歩き方」	22	服飾解剖学Ⅱ「人体と頭部について」
8	問屋街見学(横山町)	23	エディターの世界
9	メイクアップアーティストの世界「ファッションをいかすヘアメイク」	24	生産管理機器見学説明
10	ビジネスマナーⅡ「仕事とは、働くことの意義」	25	美術館見学①
11	リテールマーチャンダイジング「計数について」	26	美術館見学②
12	ファッションアドバイザーの世界	27	観劇(舞台衣装見学)
13	就職対策　「自己分析」	28	観劇(舞台衣装見学)
14	就職対策　「履歴書・面接」①	29	
15	就職対策　「履歴書・面接」②	30	

【評価方法】 履修認定(P表示)　評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
雑誌編集長によるエディターの世界、モデルのウォーキング指導を行う企業より正しい姿勢と歩き方、下着メーカーによる下着の一般知識、人材教育のコンサルティング、大学生対象就職対策講座企画・運営・講師などの経験をもとに就職に必要なコミュニケーション力強化、ビジネスマナー等の実践指導を実施。

記載者氏名　吉田　真理子

２０１９年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード　13501　　科　名　ファッション流通科　１年		単　　位	２単位
科目コード　504500　　科目名　コンピュータワーク		授業期間	通年

担当教員(代表)：塚田大祐	共同担当者：西村　元良・中村　浩

【授業概要、到達目標・レベル設定】
オフィスソフト・グラフィックソフトを用いて、目的・用途に応じて使い分けることができることと表現方法に広がりを持たせることを目標とする。
- ドロー系ソフト／Illustrator の基礎　　ペイント系ソフト／Photoshop の基礎
- オフィスソフト／Excel・PowerPoint の基礎

【授業計画】
テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

授業は全て講義・実操作で行い、実習の練習時間を設けることで個々の不明点をフォローしていく

■オリエンテーション 1コマ
- ◆ 教室利用の注意事項、及び個人ＩＤ利用の説明・日本語入力の基礎確認

■フォトレタッチ系ソフト（Photoshop / Adobe社製） ９コマ
- ◆ 基本操作、画像の加工方法及び、印刷物へ利用する為の画像の基本知識・操作を習得
- ◆ ①画像選択 ②合成/加工/修正の方法と手順 ③課題 コラージュの制作

■ドロー系ソフト（Illustrator / Adobe 社製） ４コマ
- ◆ 基本操作、MAPや企画書を作成していく上で必要となる機能・操作を習得
- ◆ ①ツール操作方法 ②図形・線の描画 ③文字の入力　④課題　コラージュの制作

■Photoshop / Illustratorの連携操作による課題制作　７コマ
- ◆ 画像の配置とリンク・画像ファイルの管理方法の説明
- ◆ ＜課題＞自分の好きなブランドのトレンドを予測したA3サイズのイメージマップ制作

■プレゼンテーション作成ソフト（PowerPoint / Excel　Microsoft社製） ６コマ
- ◆ PowerPoint　①ツール基本操作 ②スライドの作成 ③画像の利用 ④アニメーション・画面切り替えの設定
- ◆ Excel ①表作成および四則演算　②基本関数　③グラフ作成　など

全コマ数：27コマ

【評価方法】
Ｓ～Ｃ・Ｆ評価
評価基準：学業評価７０％、授業姿勢１０％、出席率２０％

主要教材図書：事前に準備した素材を配布科目コード
参考図書：特にありません
その他資料：筆記用具、USB フラッシュメモリ

授業の特徴と担当教員紹介
DTP による印刷制作や雑誌、カタログ、チラシ、HP のデザイン制作、運営を中心とする実務経験から、オフィスソフト、グラフィックソフトの目的・用途別の使用方法と表現方法についての授業を実施。
百貨店におけるオンラインショッピングの販促企画担当や、フリーランスとして企業 WEB サイトの企画デザイン制作を手掛けるキャリアを活かし、オフィスソフト、グラフィックソフトの目的・用途別の使用方法と表現方法についての授業の実施。
コンピュータープログラマー、CG デザイナーとして様々なデザインを手掛けてきた。この経験をもとに、オフィスソフト、グラフィックソフトの目的・用途別の使用方法と表現方法についての授業を実施。

記載者氏名　塚田大祐

２０１９年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　13512 科目ｺｰﾄ 613000	科　名 ファッション流通科２年スタイリストコース 科目名 ディレクションワーク	単位	１単位
		授業期間	後期

担当教員（代表）： 横堀良男（横堀洋一）	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定
スタイリング表現をするにあたり、その目的をしっかりと捉え明確にすること、また目的実現のためには、何をするべきなのかをきちんと組み立てる、他人と共有するその方法を学ぶ。

【授業計画】＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

①コラージュ制作
スタイリスト(またはビジネスパーソン)として、クライアントの期待(想像)をどのようにして、120%越えるディレクションを提案できるようになるかというトレーニング。

②企画提案・情報収集
プレゼンテーションの基本構成の作り方を学ぶ

③企画を詰める
収集した情報から、企画案を複数考える。
企画案を一つに絞り、原稿のプロットを作る。

④原稿の作成
プレゼンの原稿を作る。プレゼンテーションをする準備をする。
スライドを作成・プレゼンテーション(スピーキング)の練習をする。
短い時間でプレゼン資料の作り方を学ぶ。

⑤プレゼンテーション
ラポール、スピーキングなど、プレゼンテーションの基礎を学ぶ。
３分プレゼンでの全体発表をする。大人数の前でプレゼンテーションしても、十分なアクションとスピーキングでビジネスチャンスを獲得できるようにする。

【評価方法】

S～C・F 評価　評価基準：学業評価 50%、授業姿勢 50%

主要教材図書
参考図書
その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
海外アジアのブランド企業、ファッションウィーク、ショッピングモール、小売企業へのコンサルタント業務の経験をもとに、スタイリング表現をする上で必要な、テーマの明確な捉え方、テーマを実現するための計画の立て方、プレゼンテーションの方法などについて授業を実施。

記載者氏名　横堀　良男

２０１９年度　カリキュラム科目概要

☆

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　13512	科　名　ﾌｧｯｼｮﾝ流通科２年ｽﾀｲﾘｽﾄｺｰｽ	単　　位	１単位
科目ｺｰﾄﾞ 503200	科目名　カメラワーク a	授業期間	通年

担当教員(代表)：　八下田　彩子	共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきＨＰ上で公開します）
写真撮影の基礎知識を学び、アパレル授業で学生自身が作った作品をスタイリング撮影し、自分の好きな世界観の追求、 服の見せ方スタイリングのポイントを学ぶ。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

デジタルカメラの基礎知識
カメラの扱い、絞り、シャッタースピード、カラーバランス、保存データの種類

撮影実習 1,2 コマ目　　ポートレート　撮影実習
（スタイリストワーク授業と連動）
撮影実習 3,4 コマ目　　スカーフグループ課題　撮影実習
（スタイリストワーク授業と連動）
撮影実習 5.6 コマ目　　カラーコーディネートの個人課題　撮影実習
（スタイリストワーク授業と連動）

撮影実習 7.8 コマ目　　ライジン　広告写真のグループ課題　撮影実習
（スタイリストワーク授業と連動）

撮影実習 9.10 コマ目　アクセサリー　年代別メイクのビューティー撮影　個人課題撮影実習
（スタイリストワーク授業と連動）

撮影実習　　11.12 コマ目　　修了作品フォーマルウェアー
（スタイリストワーク授業と連動）

まとめ　　13,14 コマ目　　プレゼン　　講評

評価方法・対象・比重
出席状況・レポート

主要教材図書	なし
参考図書　なし	
その他資料　なし	

授業の特徴と担当教員紹介
雑誌、広告などで活躍するカメラマンとしての経験を活かし、写真撮影の基礎知識と、アパレル演習で学生自身が作った作品をスタイリング撮影させ、自分の好きな
世界観の追求、服の見せ方スタイリングのポイントを指導する。

記載者氏名　　八下田彩子

２０１９年度　カリキュラム科目概要

☆

科ｺｰﾄﾞ 13512　科　名	ファッション流通科２年　ｽﾀｲﾘｽﾄｺｰｽ	単　位	２
科目ｺｰﾄﾞ 703000　科目名	ヘア・メイク	授業期間	通年

担当教員(代表)：齋藤 房枝	共同担当者：高木 大輔・柗本 和子（資生堂 ＳＡＢＦＡ）

教育目標・レベル設定など

スタイリストとして、さまざまなヘア・メーキャップの技術と知識を学び、スタイリング提案をより理解しやすくし、自己表現の可能性を広げる。　美意識・美的センスを養う。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

①　メーキャップの基礎知識	用具の使い方・手順・ナチュラルメイクの展示、実習
②　スペースバランシング理論	スペースの見極め、ハイライト・シェーディング効果展示、マップ制作実習
③　イメージメーキャップの基本	アイメイク・リップメイクの基本（直・曲の描き方 説明）
④　イメージメーキャップの応用	直線イメージ：　フレッシュ・クール展示＆実習 曲線イメージ：　キュート・エレガント展示＆実習
⑤　前期実技試験	イメージ別ヘア＆メーキャップ実習　（マップ制作）（１人４０分）
⑥　ヘアスタイルの基礎知識	編み込み、くせ付のテクニック展示＆実習
⑦　ブランドメーキャップ	最新ブランド商品　２０１８ＡＷ傾向と分析 最新ブランドメーキャップテクニック展示＆実習
⑧　トータルイメージ表現Ⅰ	年代メイク　1920～1950 年　各年代のファッション＆メイクの特徴 ５０年代メーキャップ　展示＆実習
⑨　トータルイメージ表現Ⅱ	年代メイク　1960～1980 年　各年代のファッション＆メイクの特徴 ６０年代メーキャップ　展示＆実習
⑩　アートメーキャップ	アートメイクの表現（顔のパーツをアートとして自由表現）
⑪　コレクションメーキャップ	コレクション最新の傾向とメーキャップテクニック　展示＆実習
⑫　後期実技試験準備	イメージ作品トータル表現のマップ制作
⑬　後期実技試験	イメージ作品トータル表現の実技試験（１人６０分）

２コマ×１３回
―相モデル実習―

評価方法・対象・比重

授業作品（ノート）評価　＋　試験評価　＋　出席状況（学業評価７０％　授業姿勢３０％）［英数字評価］

主要教材図書

参考図書　ＭＡＫＥ－ＵＰ ＢＥＡＵＴＹ　ＳＡＢＦＡ‘Ｓ ＭＡＫＥ－ＵＰ

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

雑誌、広告、コレクションなどで活躍するプロのヘア・メイクアップアーティストからヘア・メーキャップの技術と知識を学び、スタイリング提案をより理解しやすくし、自己表現の可能性を広げるための授業を実施。

記載者書名欄　齋藤　房枝

２０１９年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	13512	科　名	ファッション流通科２年スタイリストコース	単　　位	１　単位
科目ｺｰﾄﾞ	503406	科目名	カメラワークｂ	授業期間	通年（　隔週　）

担当教員(代表)：　湯浅　亨	共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきＨＰ上で公開します）
写真の基礎的な知識・歴史などを学び、スタイリストとしての写真との関わり方を学ぶ。実習、写真集の制作を通して、プロとして撮影の現場から写真のセレクト、レイアウト、製本までを体験する。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

１、基礎的な写真の見方

2、様々な写真集

3、ポートレイト講義

4、ライティング講義

5、自然光ポートレイト演習

6、演習公表

7、カメラの歴史

8、ファッション写真史１

9、ファッション写真史２

１０、ファッション写真史３

１１、ファッション写真史４

１２、ふしぎな写真

１３、提出物講評
１４、提出物講評　　２　まとめ

評価方法・対象・比重
Ｓ～Ｃ・Ｆ評価　評価基準：学業評価５０％、授業姿勢５０％

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
雑誌、広告などで活躍するカメラマンとしての経験を活かし、写真の基礎的な知識・歴史と、スタイリストとしての写真との関わり方を指導。実習、写真集の制作を通して、プロとして撮影の現場から写真のセレクト、レイアウト、製本までを体験させる授業を実施。

記載者氏名　湯浅　亨

２０１９年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　13512　　科　名　スタイリスト科スタイリストコース２年		単　　位	１単位
科目ｺｰﾄﾞ 301000　　科目名　アクセサリー論・演習		授業期間	通年

担当教員（代表）：齊藤美子	共同担当者：

教育目標・レベル設定など
ファッションコーディネーションに必要なファショングッズの専門知識と技術を学ぶ。
作品製作を通しアクセサリーと衣服のコーディネーション力・バランス感覚を身につける。

授業計画＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

１、花のアクセサリー･････････････････････････････（講義・実習３コマ）

・　布を使用した花のアクセサリーを製作する。さらに作品を活かすためのビジュアルを合わせて製作し、作品をスタイリングする（以降の作品においても作品に合わせるビジュアルを製作する）

２．ヨーヨーキルトで作るアクセサリー･･････････････････（講義・実習３コマ）

・　ヨーヨーキルトを使ってアクセサリーに仕上げる工程を理解させる

３、蝶ネクタイのアクセサリー････････（講義・実習３コマ）

・　蝶ネクタイの作り方を理解する

３、フォーマルウェアに合わせるアクセサリー････････（講義・実習２コマ）

・　花のアクセサリー、ヨーヨーキルトのアクセサリー、蝶ネクタイの作り方を元に、フォーマルウェアに合わせたアクセサリーを制作する。
ビーズエンブロイダリー、スパングルエンブロイダリー等の装飾技術も合わせて習得させる。

４、自由作品･････････････････････････････････････（講義・実習２コマ）

・　習得したテクニックを用いてデザイン発想から仕上げまでオリジナルのアクセサリーを製作する

評価方法・対象・比重　　制作物･授業態度による評価　作品：授業態度・出席状況＝８：２

主要教材図書

参考図書　文化ﾌｧｯｼｮﾝ大系　服飾関連専門講座⑧　手芸　　THE ART OF Manipulating Fabric (Colette Wolff)

その他資料　実物標本、段階標本

授業の特徴と担当教員紹介
藤編みのかごバッグが特徴のオリジナルブランド「yoshiko」を展開し、自らバッグ、アクセサリーの制作を手掛けている経歴から、ファッションコーディネーションに必要なファショングッズの専門知識と技術についての授業を実施。

記載者書名欄 齊藤美子

２０１９年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ 13522　　科　名　ファッション流通科２年スタイリストコース		単　位	1　単位
科目ｺｰﾄﾞ 700100　　科目名　ディスプレイ		授業期間	通年

担当教員(代表)：秋山裕美	共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ディスプレイの基本のテクニックを学び、モデルショップのウィンドーを使い、グループで演習を通して理解する フォーミング、ウエアリング、置く、吊る、ピンナップ、ピンワークのテクニック、それに伴う構成、道具、用具、ツールの使い方、演出を学ぶ プランニングをし（ディスプレイデザイン画、テーマ／コンセプト、カラー、イメージコラージュ等）それを基にディスプレイを行うことができるようになる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

コマ	内　容	コマ	内　容
1	ディスプレイ概論　販売／販売促進／展示会等での 講義　ディスプレイの目的と役割、効果を知る	8	道具、ツールの使い方
2		9	テクニック　ピンワーク 布のたたみ方、基本と応用
3	ディスプレイVP演習1　マネキン、トルソーの使い方と着せ方 グループ演習　フォーミングとウエアリング	10	ディスプレイVP　プランニング プランニング
4	構成、レイアウト、演出による効果	11	ディスプレイVP演習2　ディスプレイ
5	演習まとめ　演習をレポートにまとめる上で理解 や知識を深める	12	
6	前期試験　演習のディスプレイレポート　個人	13	まとめ　プランニングに写真を添付して完成 度の高い物を提出
7	テクニック　置く　吊る　ピンナップ グループ演習		

【評価方法】

出席状況 50%　理解 50% 積極性、協調性、デザイン力

主要教材図書　ディスプレイ .VP.VMD（文化出版）

参考図書　INSPIRATION(海外のディスプレイ紹介写真集)

その他資料　マネキンのカタログ　雑誌（装苑　ファッション、インテリア系）

授業の特徴と担当教員紹介

百貨店、アパレル、展示会などでディスプレイデザイナーとして活動する経験をもとに、ディスプレイの基本テクニックを指導する。モデルショップのウィンドーを使い、グループ演習を通してフォーミング、ウエアリング、置く、吊る、ピンナップ、ピンワークのテクニック、それに伴う構成、道具、用具、ツールの使い方、演出について理解するための授業を実施。

記載者氏名　秋山裕美

２０１９年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ	13512	科　名	スタイリストコース２年	単　　位	1
科目ｺｰﾄﾞ	502200	科目名	パーソナルカラー	授業期間	後期

担当教員(代表)：小島　有紀	共同担当者：　ー

教育目標・レベル設定など
1 年次の色彩学や配色理論をもとに、ファッション業界の現場で活用する「似合う色」の習得を目指す。外見の色素による理論的なアプローチ方法を学び、似合う色を見分ける色感を身につけ、スタイリングスキルの応用力向上を図る。（＊パーソナルカラー検定 3 級・2 級の内容を含む。2 級を全員受験とする。）

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

●パーソナルカラー概論（１コマ）
・パーソナルカラーの本来の目的や意味、似合う色の定義について（色素の考え方）
・ファッション業界の現状をふまえたパーソナルカラーの活用法やビジネス展開について（スタイリングに活かす）
・「パーソナルアイデンティティ（自分らしさ）」の確立、「自分ブランディング」について（外見と内面の自己実現）
・パーソナルカラー検定について

●パーソナルカラーの基本（２コマ）
・パーソナルカラーの色の見分け方（色感）／イメージワードの使い方
（タイプ別コラージュの作成による色感の習得　／ワードのボキャブラリーを増やす）
・素材・デザイン・柄・メタリックへの応用／定番色と流行色
・色素（肌・髪・眼）の見方／色素チェックの実践（自分自身、対クライアント対策）
・色素と似合う色の関係性（色の三属性でとらえる考え方）のセオリー
・色素をふまえた第一印象ディスカッション（パーソナルアイデンティティをとらえる／接客への展開方法）

●ドレーピング分析方法とグループコラージュ作成（２グループ×２コマ＝４コマ）
・分析理論、ドレーピング技法、接客コミュニケーションとしてのドレーピング
・グループ別ドレーピング実習（自分の似合う色を知る）／グループコラージュ作成

●自分ブランディングシートの作成（１コマ）
・自分自身の色素傾向をまとめる／似合う色を活かしたスタイリング提案
就職活動対策、仕事での自分の見せ方、「好き」と「似合う」の違いについて
・パーソナルカラーを活かした配色技法：タイプ別の配色方法、統一と変化の考え方、アクセントカラー

●コンサルティング概論とアドバイスシート作成（スタイリストワークとの連携）（２コマ）
・パーソナルカラーをテーマにしたアドバイス理論／コンサルティング接客の理論
接客への活用：色素をほめる、似合う色を活かす、好きな色や流行色・定番色を活かす、配色提案をする
・アドバイスシートとスタイリングシートの作成（実際のスタイリング、撮影）

●パーソナルカラー活用まとめ（１コマ）
・アドバイスシートのプレゼンテーション、講評／ファッション業界での展開まとめ

●パーソナルカラー検定対策（３コマ）
・検定対策講義、小テスト、問題集対応、過去問題対策、模試
●パーソナルカラー検定２級受験（１コマ）

＊上記の内容を１回の授業内で適宜組み合わせ、実習やロールプレイ、検定対策を織り交ぜながら進める。

評価方法・対象・比重
①S～C・F 評価／評価基準：学業評価 60%（提出物・作品課題の内容の評価、小テスト、検定試験結果）
授業姿勢 40%（出席状況、授業参加姿勢、提出物の提出状況）

主要教材図書
「パーソナルカラー検定公式テキスト３級」「２級」の 2 冊：日本カラーコーディネーター協会
「パーソナルカラー検定公式問題集」：日本カラーコーディネーター協会
カラーカード１９９ａ（日本色研）
その他資料　オリジナルプリント教材

授業の特徴と担当教員紹介
パーソナルカラーリスト、カラーコーディネーターのキャリアを活かし、1 年次の色彩学や配色理論をもとに、ファッション業界の現場で活用する「似合う色」の習得を目指す授業を実施。

記載者書名欄　小島　有紀

２０１９年度　カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科ｺｰﾄﾞ　13512　　科　名　ﾌｧｯｼｮﾝ流通科２年ｽﾀｲﾘｽﾄｺｰｽ		単　　位	２　単位
科目ｺｰﾄﾞ 980020　　科目名　特別講義Ⅱ		授業期間	通年

担当教員（代表）：　中野　麗子	共同担当者：　野口　恭子

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきＨＰ上で公開します）

カリキュラム内の科目に属さない内容の集中講義で、ファッション分野を幅広く理解させる

【授業計画】テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

１．　スタイリストの現場　　90分×9コマ

２．　ファッションデザイナーとスタイリストの関わり　　90分×１コマ

３．　コレクショントレンドからの情報収集　　90分×2コマ

４．　物撮りの撮影現場　　90分×2コマ

５．　写真の歴史・写真の見方　　90分×3コマ

６．　商品のたたみ方について　　90分×1コマ

７．　樹脂を使ったアクセサリー　　90分×5コマ

８．　パーソナルスタイリストについて　　90分×1コマ

９．　衣裳会社とスタイリスト　　90分×1コマ

１０．しみ抜き実習　　90分×2コマ

１１．研修旅行の予備講話　　90 分×1 コマ

１２．舞台衣装鑑賞　　90 分×1 コマ

以上28コマ

評価方法・対象・比重

履修認定（Ｐ表示）評価基準　：　学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書　なし

参考図書　なし

その他資料　なし

授業の特徴と担当教員紹介

国内外で活躍中のスタイリストを招き、雑誌やテレビ、ドラマ、映画、ファッションショーなど様々なスタイリストの現場についての講義を実施。また着物の企画販売会社による着物の知識、アクセサリーデザイナーによるアクセサリー制作実習など、ファッション分野を幅広く理解するための授業を実施。

記載者氏名　中野　麗子